

平成25年度公益財団法人よこはまユース事業計画

I 平成25年度 事業概要

平成25年度は、当法人が公益財団法人として再出発してから3年度目にあたります。

当法人では、これまでの取組みを通じて把握した横浜の青少年を取り巻く現状と課題を解決していくための中期的な経営方針と事業計画を策定しました。

平成25年度から5年間、この計画に基づいて事業計画を作成します。

(事業の柱と公益目的事業区分)

当法人の目的『すべての青少年が周囲の人々から見守られ、人のつながりのなかで成長していくことができる社会を醸成するとともに、様々な体験を通じ青少年自らが学び育つ機会を提供することにより、未来を担う青少年の成長に寄与する』を具現化する事業の柱と事業区分は次の通りです。

【事業の柱】

- A：青少年活動を支援する事業
- B：青少年を支える人材を育成する事業
- C：青少年に体験機会や活動の場を提供する事業
- D：その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

【公益目的事業区分】

- あ：施設の貸与
- い：講座、セミナー、育成
- う：体験活動等
- え：相談助言
- お：調査、資料収集

A：青少年活動を支援する事業

あ：施設の貸与

この事業は、青少年育成活動を展開するための安全で効果的な場を提供することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

横浜市内で行われている多様な青少年対象事業を企画、実施するための指導者・育成者による打合せ準備、実際の活動の場として施設を提供します。また、学校や普段の生活では体験しにくい青少年が主体的に関わることができる体験活動や集団宿泊体験等の場として利用してもらうため、できる限り利用に関する制限を設けず施設を提供できるよう、活動相談や情報提供による支援を行います。

なお、施設の特徴や利用案内に関しては、施設パンフレットやホームページに情報を掲載し幅広く周知します。

【主な事業・取組】

- 青少年の指導者・育成者の活動拠点 横浜市青少年育成センターの諸室及び物品貸出
- 青少年の主体的な活動拠点 横浜市青少年交流センターの諸室及び物品貸出
- 青少年の集団宿泊体験活動拠点 横浜市野島青少研修成センターの諸室及び物品貸出

え：相談助言

この事業は、青少年と大人がともに育つ環境を醸成することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

横浜市内で行われている体験活動をはじめとする多様な事業に青少年が関わることにより、自らが学び育つ機会を幅広く提供するために、青少年に対する相談・助言、情報提供、コーディネート、研修講師の派遣・紹介、研修や地域活動のプランニング等、多様な支援を行います。

【主な事業・取組】

- 知っておきたい！子ども・若者どこでも講座
- 青少年の居場所の活動支援
- 地域活動支援事業（相談、助言、活動プランニング等）
- 青少年育成に関する相談、ホームページ等を使った情報提供
- 青少年に対する活動相談・ロビーワークによる日常的な相談、助言

B：青少年を支える人材を育成する事業

い：講座、セミナー、育成

この事業は、青少年を支える人材や活動の核となる青少年を養成することで、青少年と大人がともに育つ環境を醸成し、青少年の育成に寄与することを目的としています。

青少年及び青少年育成に関する知識や技能を習得することで、青少年育成への理解を深め青少年育成活動の普及を推進し、青少年が自ら学び育つことができる機会の充実や自立支援に関わる人材を育成します。

具体的には、社会的な課題をはじめ青少年育成活動の実践から得た課題を基に、テーマを定め必要に応じ専門機関・団体等と連携し講座・研修を実施します。

【主な事業・取組】

- 子ども・若者エンパワーメントセミナー
- ユースコーディネーター養成研修
- 青少年を支える層を拡大するための講座・研修
- 「青少年の居場所づくり」全国フォーラム

C：青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

う：体験活動等

この事業は、青少年が学校や家庭では体験しにくい多様な体験活動に参加することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

青少年が体験を通じ自ら感じ考えることで学び育つことができる機会として、就労体験、社会体験、自然体験、集団宿泊体験等の事業を企画・実施します。

具体的には、お互いに協力して目標を達成していく過程で青少年が社会性や協調性を育み自ら成長していくことができるよう、集団や個人の特性に応じて活動領域や手法を変え、すべての青少年を対象とした体験活動を実施するとともに、青少年事業の研究・調査・開発を行います。

併せて、小学生に放課後の安全な遊び場と集団活動の場を提供することにより、青少年の育成に寄与することを目的として、放課後キッズクラブを運営し、小学生が集団での遊びや体験活動を通じ、自ら学び育つことができる機会を、小学校に在籍するすべての児童を対象に提供します。

【主な事業・取組】

- 寄添い型支援事業「かもん未来塾」
- ふりふら勉強会（学習支援）
- 困難を抱える青少年のための集団体験活動
- 自然・社会体験プログラムの開発及び体験機会の提供（SSTプログラム）
- 野島クリスマスキャンプ事業
- ハートフルスペース連携事業
- 青少年交流センター・野島青少年研修センターが企画実施する多様な体験事業
- 放課後キッズクラブの運営

お：調査、資料収集

この事業は、青少年活動に活用できる体験活動を中心とした活動資源の調査や事業効果を検証し、青少年活動プログラム開発のための基礎資料としての活用や団体及び教育機関に提供することで、青少年の育成に寄与することを目的としています。

横浜市内で行われているNPOや企業のCSR（社会貢献）活動等と青少年育成活動や学校の体験学習等が連携することで、青少年が自ら学び育つことができる活動領域の拡大や活動機会を充実するため、市内の活動の調査、新規事業の開発を行います。

【主な事業・取組】

- 早期支援SST（ソーシャル・スキルズ・トレーニング）プログラムの研究・開発・調査
- 新規体験プログラムの開発
- 相談、助言、活動コーディネートに活用

D：その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

Dの項目は、収益事業及び法人運営のための取組です。

1 寄附金募集事業

この事業は、当法人の取組を広く市民に周知し理解を深め協力を得ることを目的として、収益事業の実施、募金箱の設置、寄附金の継続協力者の拡充のための事業を行います。

【主な事業・取組】

- 爆笑！濱っ子寄席の開催／募金箱の設置／寄附金継続協力者の拡充
- 賛助会員制度を含む寄附金制度の再構成

2 事務局運営

公益財団法人としての使命を果たすとともに、安定して継続的に運営できるよう、職員の育成、ガバナンスの強化を更に推進します。

【主な事業・取組】

- 評議員会、理事会の運営／職員の研修／事業評価システム導入／情報受発信の充実（ホームページ充実等）

平成25年度 公益財団法人よこはまユース 事業体系表

施設・課	事業の柱	公益目的	事業名	
事業課	A: 青少年活動を支援する事業	え: 相談、助言	1 知っておきたい! 子ども・若者どこでも講座	
			2 青少年の居場所の活動支援	
			3 地域活動支援事業(相談、助言、活動プランニング)	
	B: 青少年を支える人材を育成する事業	い: 講座、セミナー、育成	4 青少年の支援に関わる人材の育成等	
			5 子ども・若者エンパワメントセミナー	
	C: 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う: 体験活動等	6 寄り添い型支援事業「かもん未来塾」	
			7 自然・社会体験プログラムの開発及び体験機会の提供	
			8 困難を抱える青少年のための集団体験活動の実施(SSTプログラム)	
		お: 調査、資料収集	9 放課後キッズクラブ運営(18か所)	
			10 活動資源の調査	
			11 体験プログラム企画・検討委員会の設置	
	D: その他法人目的達成のための事業	/	12 SSTプログラム研究・開発・調査	
			13 法人ホームページの改良・管理	
	総務課	D: その他法人目的達成のための事業	/	14 第53回 爆笑! 濱っ子寄席
1 寄附金協力者の拡充と賛助会員制度を含む寄附金制度の再構成				
青少年育成センター	A: 青少年活動を支援する事業	あ: 施設の貸与	2 平成26年 新春のつどい	
			1 諸室及び物品の貸出	
		え: 相談、助言	2 利用促進に向けた取り組み	
			3 青少年育成に関する相談、ホームページ等を使った情報提供	
	B: 青少年を支える人材を育成する事業	い: 講座、セミナー、育成	4 青少年育成に関する団体とのネットワーク形成	
			5 青少年人材養成研修	
			6 ユースコーディネーター養成研修	
			7 スキルアップ講座	
青少年交流センター	A: 青少年活動を支援する事業	あ: 施設の貸与	8 青少年を支える層を拡大するための講座・研修	
			え: 相談、助言	1 諸室及び物品の貸出
				2 ロビーワークによる日常的な相談、助言
				3 青少年活動相談コーナー
	4 「青少年の地域活動拠点連絡会」の運営			
	B: 青少年を支える人材を育成する事業	い: 講座、セミナー、育成	4 夏期青年ボランティア	
			5 「青少年の居場所づくり」全国フォーラム	
			6 社会教育実習生受け入れ	
	C: 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う: 体験活動等	7 青少年委員会の運営	
			8 青少年委員企画事業	
			9 活動成果交流事業	
			10 地域交流事業	
11 体験交流事業				
野島青少年研修センター	A: 青少年活動を支援する事業	あ: 施設の貸与	12 ふりふら勉強会(学習支援)	
			1 施設・設備貸出事業	
	C: 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う: 体験活動等	2 営業活動強化事業	
			3 市民活動団体との協働体験プログラム	
			4 新規体験プログラムの開発	
			5 施設ボランティアの養成	
			6 研修センターの施設点検を活用した就労体験	
			7 ハートフルスペース連携事業	
			8 野島クリスマスキャンプ	
			9 カヌー体験キャンプ	
			10 野島クラフトワークショップ	
			11 食育プログラム(野島カレー)	
お: 調査、資料収集	12 新規体験プログラムの開発			

平成25年度 公益財団法人よこはまユース 事業計画一覧

事業課(1/4)

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
A 青少年活動を 支援する事業	え 相談、助言	知っておきたい！ 子ども・若者どこでも 講座	地縁組織の青少年育成の担い手（青少年指導員、自治会町内会役員等）やPTAおよび青少年育成団体等を対象に子ども・若者を取り巻く課題（薬物、インターネット、性非行等）のテーマ研修を実施し、青少年理解や地域力の向上を目指します。	7月～3月 40回
		青少年の居場所の活動支援	地域が主体となって運営する青少年の居場所の活動を支援し、青少年が地域の大人から見守られ安心して活動できる環境をつくれます。	
		青少年の地域活動拠点の推進・支援事業	地域が主体となって運営する小規模の青少年の地域活動拠点に対して、運営アドバイスや相談、事業実施や広報などの支援を行い、活動の浸透と拡充を目指します。	通年 1カ所
		地域の青少年の居場所の活動推進・支援	地域が主体となって取り組む青少年の居場所活動を推進・支援し、地域の青少年課題の解決に向けた取り組みが継続的に実施できるよう、地域の青少年課題に沿った地域づくりのために、ユースの地域づくりのノウハウを提供します。	通年 2カ所
		地域活動支援事業 (相談、助言、活動プランニング)	地域・企業等など幅広いニーズに応じ、研修や地域活動のプランニングや協働実施、ユース職員の派遣などの支援によって地域活動を促進します。	通年
B 青少年を支える 人材を育成 する事業	い 講座、セミナー、 育成	青少年の支援に関わる 人材の育成等	青少年活動の推進、相談、助言、情報提供、コーディネート、地域活動や人材育成研修のプランニング等により、青少年を育む青少年支援に関わる人材を育成し育成環境を推進します。	
		地域活動支援事業 を通じた人材育成	青少年育成に対応する地域力を高めるため、地域活動支援事業を通じ、青少年育成への理解を深め、青少年と向き合える地域人材を育成します。	通年
		ユースサポーター 事業	青少年育成活動に関するスキルや知識、団体運営に関するマネジメントなど、日頃の団体活動を促進するための研修会を実施し、地域活動を担う若手リーダーを育てます。研修実施にあたっては、有識者や活動実践者等で構成する委員会を設置し、活動の現状に即した研修を企画します。	検討委員会 4月～8月 研修実施 9月～3月
		子ども・若者エン パワーメントセミナー	思春期の子をもつ親や自立支援に関心をもつ市民が、子どもたちが抱えている悩みや課題について正しい知識を持ち、適切に子どもたちと向き合い成長を見守ることができるよう、子ども・若者へのエンパワーメントをキーワードにセミナーを実施します。	1月 1回

事業課 (2/4)

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	寄り添い型支援事業 「かもん未来塾」	複合的な問題で安定した生活基盤や学習機会が十分に与えられず、将来の自分について考えることが困難になっている小中学生を対象に、「気づき、やる気、希望」を引き出す寄り添い型支援事業を地域や専門機関との連携により実施します。	通年
		自然・社会体験プログラムの開発及び体験機会の提供	青少年のコミュニケーション能力の向上、人間性・社会性を育むことを目的とした、自然環境や社会資源を活用した体験活動プログラムを実施します。	
		自然・社会体験プログラムの体験機会の提供	青少年育成団体を中心とした市民団体と協働して市内の体験活動資源を活用し、広く青少年や市民に体験活動の機会を提供します。 また、市内で青少年育成に携わる団体が一堂に会した体験イベントを実施します。	自然・社会体験事業 年4回以上
		道志村の自然を活用した体験プログラム・交流プログラムの実施	横浜市の水源である道志村で、涵養林の保全ボランティア体験や自然体験キャンプを小・中・高校生を対象に実施します。 また、道志村の小学生を横浜に招き、横浜の青少年との交流を深めます。	道志村体験 7～8月 交流事業 10月
		市立高校と連携した体験活動の実施	横浜市立高校と協働して、小・中学生を対象とした体験プログラムを実施します。 ※野島青少年研修センターとの連携実施	8月 年1回
		困難を抱える青少年のための集団体験活動の実施 (SSTプログラム)	市内の寄り添い方支援事業に参加する子どもたちを対象に、自然・社会体験プログラムを実施し、集団生活の中で社会性や協調性を育み、自立した生活が送れるよう支援します。 ※野島青少年研修センターとの連携実施	年1回

事業課(3/4)

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	放課後キッズクラブ運営	<p>児童の自主性や主体性・創造性、教育、安全管理、人権に配慮しながら、市内16区18か所のキッズクラブを運営します。</p> <p>学校教育では得られない体験プログラム、季節行事にちなんだプログラム、異学年間の交流につながるプログラム、スポーツ、文化活動、食育、環境、国際理解など、児童の可能性を引き出し、達成感の得られるような内容を工夫しながら、様々な分野にわたるプログラムのほか、児童自らが企画・運営する体験プログラム等を実施します。</p> <p>すべての児童を視野に入れ、障害児も受け入れることにより、他の児童も一緒に活動することを通して、障害への理解を深められるよう配慮します。</p> <p>※ 運営キッズ数の1減、及び3か所のキッズが校舎の増改築工事に伴い、活動場所が制約されるため、今年度は事業実施回数が減になっています。</p>	<p>通年</p> <p>18か所</p> <p>事業数 4,500回 (18か所計)</p>
		地域連携 (評議会/保護者会 地域との連携事業)	<p>各キッズクラブにおいて、評議会、保護者会を開催し、学校・地域・保護者への理解と協力を図ります。</p> <p>また、児童の成長や発達力を地域へ還元していけるよう、地域清掃や高齢者施設、保育園等への訪問、地域の行事への参加など、プログラムとして取組むとともに、キッズクラブ運営に保護者が積極的に協力できる体制づくりに向けて親子体験プログラムを実施し、保護者同士も交友関係を築けるよう配慮します。</p>	<p>評議会 年2回</p> <p>保護者会 年2回以上</p>
		情報共有 (主任・指導員会議)	主任指導員・指導員の情報交換、スキルアップや事務連絡の機会として各会議を実施します。 主任会議/指導員会議/合同会議	月1回 以上
		ネットワーク作り (他キッズとの交流・ 地域資源の有効活用)	他キッズクラブとの連携事業の実施や近隣の公共施設などを活用等、校外に出かけ、町を知る機会を提供します。 また、様々な趣味や技能を有する地域人材、多くの幅広い年齢層の人々と児童の交流の場を積極的につくります。	随時
		ボランティア受入	法人本部や施設、近隣の大学との連携し、ボランティア活動希望者を受入れます。 また、卒業生がボランティアとして運営等に関われる仕組みづくりにも取り組みます。	随時
		人材育成 (スタッフ研修)	キッズクラブ運営において必要な、子どもと向き合い、子どもの育ちをサポートできる力、地域と連携する力のほか、実務研修、執行管理、マネジメント等、多様な分野にわたる講習や実践的・体験的な研修プログラムを主任指導員・指導員対象に実施します。 併せて、キッズクラブのすべてのスタッフを対象に、クラフト研修や障害児専門研修、人権研修を実施します。	随時

事業課(4/4)

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	お 調査、資料収集	活動資源の調査	青少年育成に活用できる活動資源を調査しホームページ等で情報提供します。	9月～3月 50カ所
		体験プログラム企画・検討委員会の設置	青少年の体験活動に関する委員会を設置し、市内の体験活動資源を活用したプログラムの企画や体験活動資源を広く市民に伝え活用してもらうことで、体験活動を推進するとともにその成果の検証を行います。	委員会 年6回
		SSTプログラム研究・開発・調査	困難を抱える青少年のための集団体験活動プログラムの実施、並びに市内の若者自立支援団体の活動調査を通し、SSTプログラムの研究、開発に取組みます。	通年
D その他法人の目的を達成するために必要な事業		法人ホームページの改良・管理	平成23年度にリニューアルしたホームページの安定稼働と内容の充実を図ります。	通年
	収益事業	第53回爆笑！濱っ子寄席	当法人の取組みを広く市民に周知し理解を深め協力を得ることを目的に収益事業として寄席を実施し、その収益を青少年育成事業に活用します。	11月 1回

総務課

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
D その他法人の目的を達成するために必要な事業		寄附金協力者の拡充と賛助会員制度を含む寄附金制度の再構成	寄附金の運用果実を財源とする事業を明確化するとともに、寄附者への事業協力成果を分かりやすく情報提供します。また、公益財団法人移行に伴い会員制度と基金制度を統合した現行方式を見直し、賛助会員制度を含む寄附金制度に再構成します。	
		平成26年新春のつどい	日頃の協力を感謝を表すとともに、当法人や青少年育成への更なる理解と交流を図る機会として実施します。	1月

横浜市青少年育成センター

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期／回数他
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	諸室及び物品の貸出	会議・研修室、研修機材、印刷機、着ぐるみなどの貸出を行うことで、地域の青少年育成活動を支援します。また、ホームページ等の充実をはかり、“利用しやすい”サービスを高めていきます。	通年
		利用促進に向けた取り組み	見学会や気軽に参加できるイベントの実施等、利用者のすそ野拡大のため、利用促進事業を実施します。	通年
	え 相談、助言	青少年育成に関する相談、ホームページ等を使った情報提供	ホームページや相談業務等を通じて助成金や研修講座情報等を収集・発信し、青少年育成を支援します。また、地域の実情にあった相談や講座実施を推進するため、出張相談を行います。	通年
		青少年育成に関する団体とのネットワーク形成	青少年育成団体・青少年関連のNPOなどとの意見交換会や活動見学会、研修会の実施等により、顔の見える関係づくりをめざしネットワーク形成につとめます。	通年
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	青少年人材養成研修	居場所や地域など青少年に関わる人材の養成を図ります。また、講座参加者のメーリングリストやメールマガジン等、事後のフォローアップを行います。	全5回
		「ユースコーディネーター養成研修」	ネグレクトや非行等の潜在的課題を持つ青少年を早期に発見し、地域の支援機関につなげる人材を育成します。	12月～1月 3回
		スキルアップ講座	青少年育成を進める上で必要なスキルを身につけられる講習を実施します。	6講座
		青少年を支える層を拡大するための講座・研修	現在の青少年をめぐる課題について発信し、地域における青少年を支える層の拡大を図ります。 (シンポジウム) また、青少年育成の新たな担い手を育成するため、20・30代の社会人を対象とした講座・研修を実施します。(馬車道カレッジ)	シンポジウム 1回 カレッジ 6回

【育成センターと交流センターの事業連携の考え方】

育成センターが、地域で青少年を見守る地域人材の育成を図るための研修を実施し、研修終了後の実習の場として交流センターを活用します。

また、青少年や指導者等からの相談に的確に対応するため、交流センターと育成センターのスタッフがケース毎にきめ細かい連携を図っていきます。

横浜市青少年交流センター

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期／回数他
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	諸室及び物品の貸出	青少年が気軽に安心して過ごすことのできる居場所を提供します。また青少年を含む利用者が活動しやすい施設環境を整え、活動を支援します。	通年
	え 相談、助言	ロビーワークによる日常的な相談、助言	スタッフが青少年への声かけや何気ない会話から、潜在的な課題や悩みを引き出します。そして、来館する青少年一人ひとりに寄り添って、課題や悩みを共有することで、成長を支援します。	通年
		青少年活動相談コーナー	青少年活動に対する相談・コーディネートを行い、青少年が自ら考え、成長していけるよう支援します。	
		「青少年の地域活動拠点連絡会」の運営	市内の青少年の地域活動拠点をはじめとして市内の居場所の活動をより充実するため、情報交換をはじめ、各拠点の持つ課題やノウハウの共有を行います。	通年
B 青少年を支える人材を育成する事業	い 講座、セミナー、育成	夏期青年ボランティア	夏休み期間中、高校生以上の青少年を対象にセンター内外でのボランティア活動の場を提供します。来館する青少年とのふれあいを通じて、協調性や社会性を養成するとともに、青少年活動のきっかけづくりを図ります。	7月～8月
		「青少年の居場所づくり」全国フォーラム	青少年の居場所づくりをテーマにした、全国規模のシンポジウムと分科会を実施します。情報提供と意見交換の場を提供することで、青少年を支える人材を育成します。	2月
		社会教育実習生受入れ	大学の社会教育主事課程を履修する学生に対し、居場所での実習場所を提供することにより、青少年を支える人材を育成します。	通年
		青少年委員会の運営	青少年の社会参画を図るとともに、センターの管理・運営に青少年の声を反映するため、青少年による委員会を組織し、青少年リーダーを育成します。	通年
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	青少年委員企画事業	青少年委員の企画運営による事業を実施します。青少年委員に自主的な活動の場を提供するとともに、参加者と青少年委員との異年齢交流を図り、居場所機能の向上を図ります。	通年
		活動成果交流事業	センターの利用者・団体が日頃の活動成果を発表する機会を提供します。青少年が事業を通じて、青少年同士や大人との異年齢交流を図ることで様々な価値観を学び、成長につなげます。	通年
		地域交流事業	地域の人達が気軽に参加できる事業を実施します。事業を通じ、青少年と地域の大人が年齢を越えて交流する機会を提供し、青少年が自主性や協調性を養う場を提供します。	通年
		体験交流事業	青少年が事業を通じて、自分に自信を持てるようスポーツ、工作、料理など多様な体験活動の機会を提供します。また、社会に出て間もない働く青少年同士の交流や仲間作りを目的とする事業を実施します。さらに3階スペースを活用し、青少年に創作・成果発表及び交流の場を提供します。	通年
		ふりふら勉強会(学習支援)	学校の教育課程からふり落とされることがないように、生活困窮家庭の子ども(小中学生)を対象に、毎週定期的に学習を支援し学習意欲を高め、将来に対する意欲を涵養します。また、学習支援の他、自分の興味を具現化する過程に寄り添う大人や青年等に出逢う機会も提供します。	通年 週1回以上

横浜市野島青少年研修センター

事業の柱	公益目的区分	事業名	内容	実施時期 /回数他
A 青少年活動を支援する事業	あ 施設の貸与	施設・設備貸出事業	利用団体が主体的に活動できるよう、施設や備品を貸出します。また、利用者が安心して安全に利用できるよう、各関係法令に則り、適切に管理をします。	通年
		営業活動強化事業	チラシの発行配布、インターネットによる情報提供など広報を強化し、利用の動機づけを図ります。修学旅行や部活動など教育機関の誘致を行い利用の増加を図ります。	通年
C 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業	う 体験活動等	市民活動団体との協働体験プログラム	自然体験・環境教育活動を通じて青少年の豊かな心を育くみます。 ①オールクリーン野島ビーチ ②バードウォッチング ③カヌー教室	①年4回 ②年1回 ③年22回
		新規体験プログラムの開発	野島の地域資源を活かした、特色ある体験プログラムを有識者とともに開発・検証し、青少年が自ら学び育つことができる機会を提供します。	通年
		施設ボランティアの養成	利用者の活動を支える施設ボランティアの養成と組織化を図ります。そのため、研修の充実を図っていきます。	通年
		研修センターの施設点検を活用した就労体験	施設点検等の就労体験を通じ、社会性や協調性を育む場を提供します。また困難を抱える若者に共同生活の場を提供し、社会性やコミュニケーション力の向上を図ります。	通年
		ハートフルスペース連携事業	市教育委員会の適応指導教室に通う児童生徒に宿泊体験機会を提供し、社会性や協調性を育み、自ら成長することを支援します。	11月
		野島クリスマスキャンプ	個別支援学級に通う児童生徒に集団生活の機会を提供し、社会性や協調性を育みます。また、青年ボランティアに活動機会を提供します。	12月
		カヌー体験キャンプ	カヌー操縦など野島の環境を活かした体験活動を提供し、青少年の自然への興味関心を高めます。また宿泊体験を通じて、仲間と交流し、協調性や自主性を養います。	年4回
		野島クラフトワークショップ	活動の空き時間や雨天時などに、もの作りの体験機会を提供し、施設での円滑な利用を支援します。	通年
		食育プログラム(野島カレー)	カレー作りを通して、児童の好奇心を刺激し食に対する興味を高めます。また集団での活動を通じて、協調性を身につけます。	通年
	お 調査、資料収集	新規体験プログラムの開発	地域資源を活かした、野島ならではの体験プログラムの開発・検証を行います。	通年